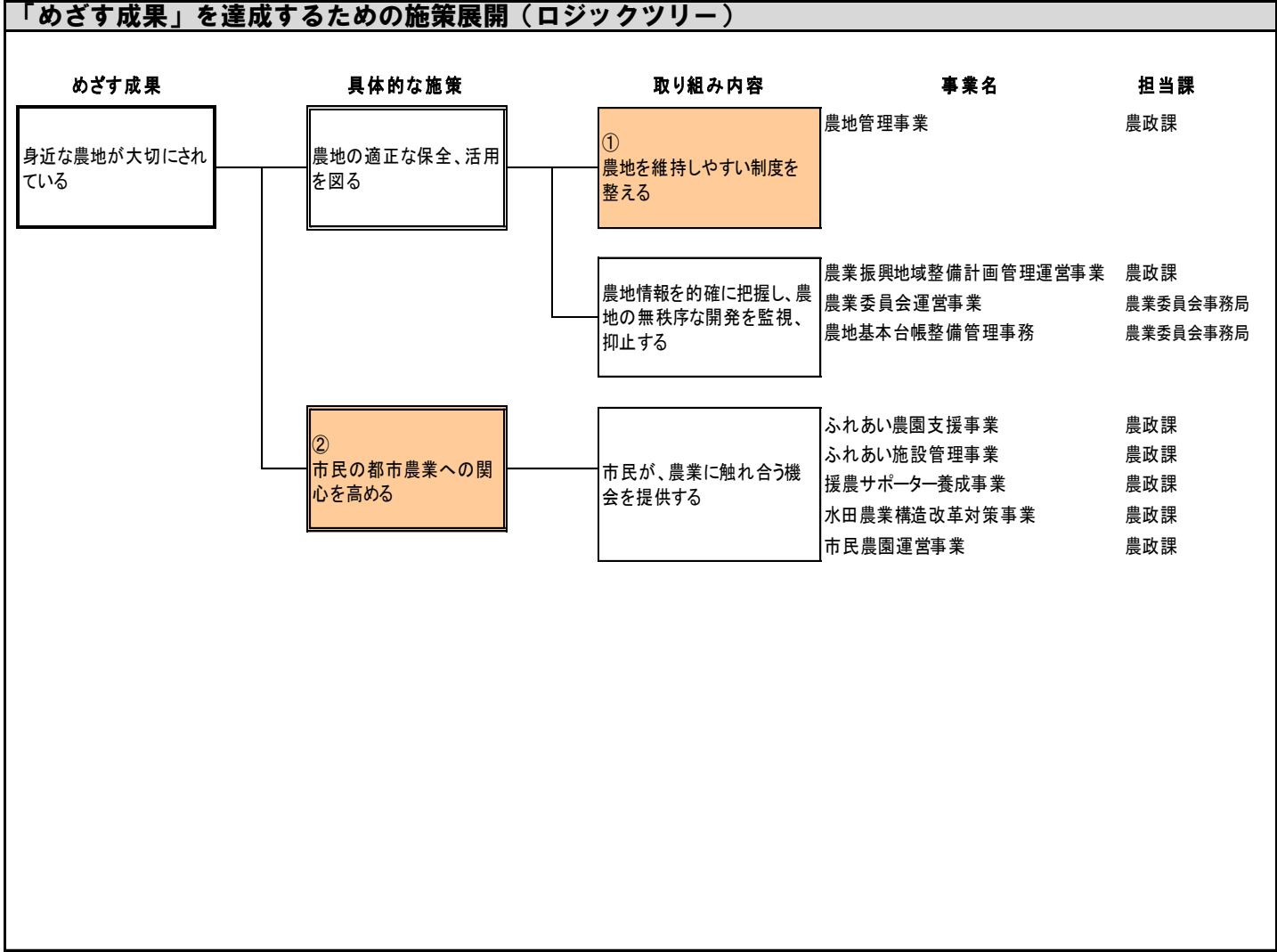


平成25年度「めざす成果」の達成に向けた進行管理シート		
4－2－2 身近な農地が大切にされている		
総合計画体系	健康領域・基本目標	まちの健康・環境を守り育てるまち
	個別目標	まちの緑を豊かにする
	めざす成果	身近な農地が大切にされている
		農地が適正に保全、活用され、都市農業への関心が高まっています。



総合計画掲載指標①		総合計画掲載指標②	
農用地の利用権設定面積		市民農園応募者数	
計画策定時 現状値	2. 8ha	計画策定時 現状値	592人
実績値 (H24)	4. 6ha	実績値 (H24)	312人
中間目標値 (H23)	3. 9ha	中間目標値 (H23)	600人
目標値 (H25)	4. 0ha	目標値 (H25)	600人

所 管 部		環境農政部、農業委員会	
平成２４年度までの 取り組み内容	【農地の適正な保全、活用を図る】 ・生産者の高齢化により耕作できなくなった農地を生産拡大を希望する農家に、期間を設けて貸し出すことで、農地の保全を図りました。 （利用権設定 平成25年3月末現在：総面積 約4.6h a 総件数 27件） ・市街化区域の農地を、生産緑地に指定することで、農地を維持しやすい環境を作りました。（指定状況 平成24年12月末現在：総面積 61.2h a 指定箇所数 355箇所） ・遊休農地を解消するために、所有者に対して指導・助言や利用権設定のあっせんにより、農地の保全を図りました。		
	【市民の都市農業への関心を高める】 ・生産者の高齢化、後継者不足、又は事業拡大を図る生産者の支援に対応するため、平成２３年度から援農サポーター養成講座を実施しました。 ・市民が土と緑に親しみ、収穫の喜びを通じて、都市農業の生産と消費に対する理解を深めてもらうため、市民農園運営事業及びやまとふれあいの里レンゲまつりの支援を行いました。		
構成事業に対する考え方 （事業の量及び実施手法）	・農地の利用状況を把握し、違反転用や遊休農地防止のために農地パトロールを実施します。 ・都市農業への市民の関心を高めるため、市民農園支援事業を行うなど様々な周知、啓発活動を行っていきます。 ・生産者の支援に対応するため、援農サポーター制度の周知を行うなど、サポーター活動をより一層活発にしていきます。		
今後の展開方針		注）。例年どおりの事業展開を予定している事務事業については、特段の記載をしていません。	
新規事業の立案			（該当する事務事業）
既存事業の拡充	・経営規模拡大を図りたい農業者へ農地の利用集積が円滑に行われるように、市街化調整区域内の賃貸可能な農地について、農業委員会を通じて農業者の意向の取りまとめを行います。		（該当する事務事業） 農地管理事業 農業委員会運営事業
事業の廃止・縮減			（該当する事務事業）
事業の効率化			（該当する事務事業）
その他見直し	・援農サポーターを組織化し、生産者の営農活動の支援を行いやすい環境にしていきます。		（該当する事務事業） 援農サポーター養成事業